

京都教区時報

京都教区広報委員会
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

5頁 教皇フランシスコの訪日メッセージに応じて(3)

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

2020年 司教年頭書簡を読む(8)

貧しい人の叫び

2018年第二回「貧しい人のための世界祈願日」教皇メッセージで、教皇フランシスコは次のように述べています。

「わたしたちは貧しい人の叫びに耳を傾け、彼らが必要としているかを知るために、その人々に目を向けるよう招かれているのです。ご存じのように、主は貧しい人が呼び求める声にとりわけ耳を傾けてくださいます。そして、悲しみと孤独、疎外によって打ち砕かれた心で、主のうちに逃れ場を探す人に優しくしてくださいます。また、尊厳を踏みこじられても、光と慰めを受けるために天を仰ぎ見る力を失わない人の声を聞いてくださいます。偽りの正義の名のもとに迫害され、名ばかりの施策によって抑圧され、暴力に脅かされても、神が救い主であると確信している人々の声を、主は聞いてくださいます」(1)。

「最初に神の存在に気づき、神が人生に寄り添ってくださることをあかしできるのは、貧しい人です。神はご自分の約束をつねに守

り、夜の闇の中でも、ご自分の愛と慰めの温もりを必ず与えてくださいます」(6)。

「希望のことばは、信仰が自然に導き出すことばです。あまりにも内向的で、現状にとらわれている人生観から生じる無関心さを揺さぶるのは、多くの場合、貧しい人にほかなりません。貧しい人の叫びは、解放されるといふ確信を表す希望の叫びでもあります。その希望は、ご自分に自らをゆ

だねる人々を決して見捨てない神の愛に根ざしています」(9)。

(瀧野正三郎)



招かれた1500人の貧しい人々と昼食のテーブルを囲む教皇

2018年11月「第2回貧しい人のための世界祈願日」を機会に企画された昼食会にて

9
2020

すべてのいのちを守るため
 ～ 教皇フランシスコ訪日講話集 ～ を読む⑥

「東日本大震災被災者との集い」

でのメッセージ

今、コロナウイルスの猛威と、豪雨による水害の大惨事を前にして何かを書くということは、大きな試練と勇気を求められます。

訪日時、教皇様は、地震、津波、原発事故の三重災害について、各々の代表者の証言への答えとして語られました。その内容については「すべてのいのちを守るため」の中の教皇講話と三人の証言をお読みください(40～53頁)。その後、今年さらに加わった大水害を前にして、教皇様は何をお語りになるのだろうかと考えながら読み返しています。

教皇様は、災害に際して人々が示した日本人の連帯感を称賛し、日本人は連帯し根気強く粘り強く不屈の精神をもって一致団結できる国民だということを示したと、お褒めの言葉をくださいます(褒められると嬉しい)。

そこから祈りにおける連帯や、相互献身による兄弟的愛の出会いの尊さを説いて

ておられます。そして、戦争、難民、食料、経済格差、環境問題は切り離せない問題であり、また私たち人間は地球の独裁者ではなく、地球の一部として自然を大切にす謙虚な精神が求められると言われます(幸い日本人は自然を愛し大切にす国民である)。そして、一番問題なのは無関心の文化であり、こういう連帯性に基づいて、社会構造は再構築されるべきだと述べられます。

無関心の克服と共に大切なのは、立ち止まり、じっくり考え、振り返る時間です。今の世は進歩と開発、技術主義、物質主義にふりまわされている落ち着きのない世界です。このままだと、自然も人間自身も病み、死滅していくことになりかねません。

教皇様の話の説得力があるのは、相手を理解しようとする心と、褒め励ますことをよく知っておられるからだと思えます。

自然は私たちの家と言います。私たちはこの家に「何を残したいのですか」。この問いは、明日を担う私たちの愛する子どもたちからの問いかけです。

1992年6月11日リオデジャネイロで開かれた国連の地球環境サミットで、12歳のセヴァン・スズキさんがスピーチをして大きな感涙を呼び起こしました。

彼女はこう言い始めます。

「私がここに立って話をしているのは、未来に生きる子どもたちのためです。世界中の飢えに苦しむ子どもたちのためです。そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです」。

そしてこう締めくくります。

「なぜあなたがたがこうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。そしていったい誰のためにやっているのか。それはあなたがたの子ども、つまり私たちのためです。あなたがたはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち生きていくのかを決めているんです。あなたがたはいつも私たちが愛しているといえます。しかし、私は言わせてもらいたい。もしそのことが本当なら、どうか本当だということを行動で示してください」。

私たちはこの訴えにどう答えるのでしょうか。

環境問題については、すでに1981年の教区ビジョン発表以前から、平和旬間において取り組んでいました。そして2018年司教年頭書簡、聖書講座、教区時報のテーマでした。参考にしていただけならと思います。しかし、何よりも重要なのは、教皇フランシスコの「ラウ

ダート・シ」です。さらにパウロ6世の回勅「諸民族の進歩」、ヨハネ・パウロ2世の回勅「真の開発とは 人間不在の開発から人間尊重の発展へ」も大切な教科書です。さらに日本司教団の「いのちへのまなざし」があります。

環境問題は、単なる社会問題ではありません。私たちのいのちの問題です。福音の神髄に関わる問題でもあるのです。

(環境問題についての資料は大量に集めたのですが、引越しの際、どこかに雲隠れ。)皆さんの身近には良い論文があります。①「福音宣教2020年(オリエンズ宗教研究所発行)」に、吉川まみさんがシリーズでも参考になる記事を連載中、②「福音の喜び 人々の中へ、人々と共に」2015年上智大学神学部夏期神学講習会講演集、③「正義と平和の口づけ(日本基督教団出版局)2020年4月発行」、なお、「聖書思想事典」は最も重要な参考書です。

自肅が要請され、何か密室に密閉されたように感じる現今、三密の本来の意味に帰る必要もあるでしょう。三密とは、良い状態に保ち(身密)、必要以上の情報に惑わされず、慈しむところを俯瞰し(口密)、憶測を言葉にせず他人の不安を煽らず生きる(意密)。これが密教の「三密に生きる」という解釈です。方法論に

流される者への戒めです。

教皇様は、観想してごらん下さいとも言われます。自然を観想するのです。そして詩人アシジのフランシスコは「自然を讃えて歌おう」と言います(太陽の賛歌)。主は讃えられますように。水を通して。そうすれば水も驚いて讚美に加わるかも知れません。

イエズス会の英隆一朗師は、「福音宣教7月号」(オリエンズ宗教研究所発行)において、「疫病の中で、わたしたちは安息する」という、とても興味ある文を書いていらっしゃいます。「自然は私たちに安息を求めている」という言葉はどうでしょう。じっくり腰をおちつけて考えてみたいと思います。

(村上透磨)



教皇、東日本大震災被災者との集い
東京・ベルサール半蔵門にて

新型コロナウイルス感染症に苦しむ 世界のための祈り

いつくしみ深い神よ、
新型コロナウイルスの感染拡大によって、
今、大きな困難の中にある世界を顧みて
ください。
病に苦しむ人に必要な医療が施され、
感染の終息に向けて取り組むすべての人、
医療従事者、病者に寄り添う人の健康が
守られますように。
亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、
尽きることはない安らぎに
満たされますように。
不安と混乱に直面しているすべての人に、
支援の手が差し伸べられますように。
希望の源である神よ、
わたしたちが感染拡大を防ぐための
犠牲を惜しまず、
世界のすべての人と助け合って、
この危機を乗り越えることができるよう
お導きください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。
希望と慰めのよりどころである聖マリア、
苦難のうちにあるわたしたちのために
お祈りください。

(2020年4月3日)

日本カトリック司教協議会認可)

新型コロナウイルス感染症に 苦しむ世界のための祈り

4月3日、日本カトリック司教協議会会長高見三明大司教（長崎大司教区）は、司教団が認可した「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」を紹介し、祈りをささげるように、呼びかけました。

京丹ブロック丹波教会の共同体は、もっとも弱い立場にある兄弟姉妹を大切にするために、力を合わせて「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」を唱えています。私たちはミサがある時はミサで、家族と一緒に家で、そして仕事に行くときなどに祈っています。丹波教会の共同体での取り組みを、分かち合いたいと思います。

- 主日ミサ中、共同祈願のひとつとして皆で祈願している。
- 日々のロザリオの祈りの神秘を、このための祈りに変え、祈っている。
- カトリック中央協議会のHPから祈りのカードをダウンロードし、いつでも

唱えられるようにスクリーンショットで携帯に保存して、教会敷地内の庭清掃の際に「祈り」を唱えてから作業を開始しています。

● ガレリア亀岡でオカリナ講師をされている信徒の方は、この祈りの言葉がとても良いので、オカリナの講座中止の案内を発送する際に、ガレリア亀岡事務局の承諾をもらい、祈りのカードを同封されました。信者でない受講者への案内でしたが、「とても良い祈りなので、ご紹介いたします。」とご本人のサイン入りで発送されました。

● 言葉ってすごい！ 眠っていたものが言葉にすると呼び起こされる。書いたものによって忘れた事を呼び覚ましてもらえる。だから、文章になるとすごいと思う。この祈りの言葉を通して感じた。

- コロナの祈りが届いた時に、スマホに撮りいつでもどこでも祈っています。
- コピーして娘や友人に渡しました。私自身は、かばんに入れて折々に祈ったり、朝起きた時の祈りにプラスしたりしています。
- 毎朝、起床後に、スマホにスクリーンショットしているので祈ってからベッ



ドを出る。中学生の娘（ノートルダム女学院）は、毎朝ホームルームでこの祈りを唱えている。

● 祈りのカードを財布に入れて、必要な時に祈れるようにしている。

- ベッドの枕元付近に祈りのプリントをファイルに入れ、目覚めた時、または寝る前に祈れるようにしている。
- あまりミサに最近参加できていないので、日常の中で活用しています。ウイルスとの関係が神様の計らいでうまく落ち着きますように、と。
- 祈りをプリントアウトして持ち歩いていましたが、自粛中も仕事に行っていたので、日々の生活の中ではあまり活用できていません。
- 祈りには「世界」とありますが、感染爆発や様々な自粛要請が出た中では、なかなか「世界」に目を向ける、また世界にまで気を配る余裕はありません。自分のまわりの安全が確保できな

い中で、世界に目を向ける具体的な取り組みを少しずつ考えていかなければならないと思います。祈りが一番大切だと思いますが、プラス何かできることを考えていかなければ、感染と比例して貧困化はますます加速すると思います。

これから先も、コロナウイルス感染症の感染者のために、まだミサに参加できない信徒のみなさんのためにも祈らなければならぬと思います。

神様、皆が祈りのうちに互いに結ばれ、支え合って生きていくことができま

京都南部地区京丹ブロック担当司祭
アントニオ・カマチョ

「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」のカードは、教区本部事務局より各小教区に発送いたしました。しかし、ミサがありませんので、皆様のお手元に届いていないかもしれせん。中央協議会のサイトからダウンロードできますのでぜひご利用ください。

教区事務局では、毎朝始業時の祈りの中で、この祈りを唱えています。心を合わせ、祈り続けていきたいと思

教皇フランシスコの

訪日メッセージに答えて(3)

教皇は、東京カテドラルで行われた「青年との集い」において、今を生きる青年たちに向けて、様々な問いかけをされました。その場に参加していた京都教区の青年たちは、その問いかけにどのように応えたいと思っ

「青年の集い」では全国各地から来たたくさんの方と出会いました。

三人の青年の証言に真摯に答えられる教皇様の言葉を聴きながら、今日のこの場所から私の日々の歩みが、よりイエス様と周りの皆のための捧げものとなり、共にお互いの人生を分かちあえるような誠実な歩みをしていきたいと思

「あなたが存在しているのは神のため

で、それは間違いありません。ですが神はあなたに、他者のためにも存在してほしいと望んでおられます。神はあなたの中に、たくさんの方の資質、好み、たまもの、カリスマを置かれましたが、それらはあなたのためというよりも、他者のためのもので

私の人生を、心を、もっと周りの人のために使いたい、開いていきたい。そして変わりたいと思

衣笠教会 山田将太郎



笑顔で青年たちに語りかける教皇「青年との集い」東京カテドラル聖マリア大聖堂にて

大塚司教の9月のスケジュール

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、スケジュールの変更がありますので、最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

9月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(366)6609 ㊦㊧

よく分かる聖書の学び

当面の間休止

再開が決まり次第、教区のHPに掲載

広報委員会

お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛メール honbu@kyoto.catholic.jp または Fax.075(366)6679 に発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 11月号の原稿締切り日は9月16日㊦です。

◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため以下の行事は中止です。

26日 小教区評議会役員交流会

9月・10月に予定していた合同堅信式

◇次の献金は移動します。

聖金曜日の「聖地のための献金」

9月13日に移動

6月28日の「聖ペトロ使徒座への献金」

10月14日に移動

5月17日の「世界広報の日の献金」

11月15日に移動

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練習：13日㊦ 14:00 洛星宗教研究館
26日㊧ 18:00

ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

コーロ・チェルステ(女声コーラス)

練習：10日㊦ 10:00 / 24日㊦ 10:00

河原町教会2階楽廊

カトリック京都働く人の家(九条教会内)

定例会：13日㊦ 15:30~17:30

(ZOOMでも参加できます)

対象：15歳~35歳の方 どなたでも

問合せ：090(8207)1831 瀧野

聴覚障がい者の会

9月に予定していた黙想会と手話ミサ・交流会は新型コロナウイルス感染予防のため中止します。

問合せ：事務局 阿野 Fax：075(361)9082

心のともしび ラジオ番組案内

(全国34局で放送)

KBS京都 ㊦~㊧ 朝5:55 ㊧ 朝5:15

ラジオ関西 ㊦~㊧ 朝5:00 ㊧ 朝6:05

9月のテーマ「いつも生き生きと」

青年センターの機関誌「じよばに」を、7月発行分より青年センターのホームページに掲載しています！

新型コロナウイルスの影響で、青年センターに集まって作業することが困難となり、7月分より紙媒体での発行を中止いたしました。発行を楽しみにして下さっていた方、申し訳ありません。最新号は、7月5日、12日、26日の3回に分けて掲載しましたので、ぜひご覧ください。次号もホームページにて掲載予定としています。

→<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

10月の1日企画「ロザリオの夕べ」を今年も行います！今年はおオンラインにて実施予定にしています。離れていてもオンラインであれば同時刻に参加可能です。青年センター主催のオンライン企画は初めてですので、担当の運営委員が試行錯誤中です。日時や詳細については決まり次第広報いたしますので、しばらくお待ちください。お楽しみに～！

京都北部地区運営委員・西舞鶴教会 小林まゆか

青年センターあんでな